



港北区制80周年記念

区民フォーラム

港北区制80周年

ここにも、そこにも、あそこにも

# いろいろな共生みつけた!

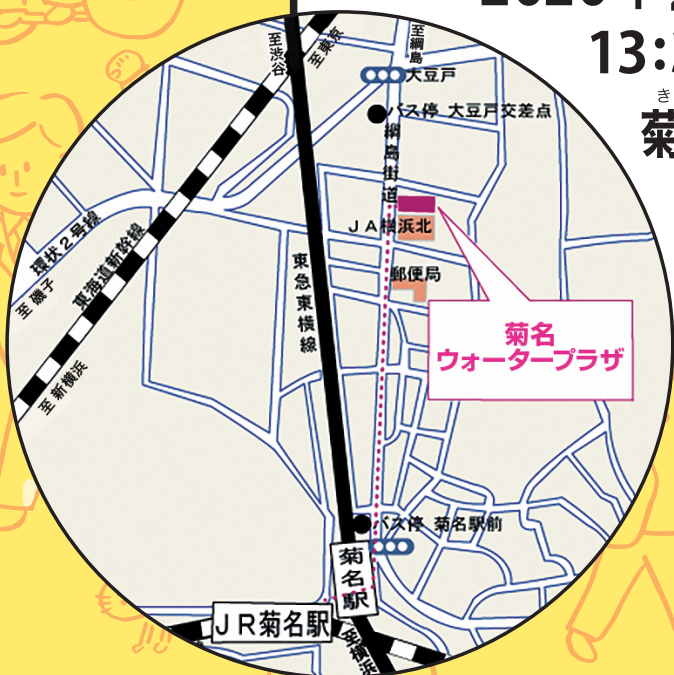
だれかを見守ることやちょっとした手助けって、  
とっても大切だけど勇気がいること?  
『支援』の考え方を考える  
「気負わない見守り」とは・・・  
あなたのまちの、身近な取り組みの  
ほんの一部をご紹介します。

2020年2月12日[水]  
13:30-15:00

菊名ウォータープラザ 4階

港北区大豆戸町155

駐車スペースがありませんので、  
公共交通機関をご利用ください。



地域にはいろいろな人がいて当たり前。  
そんな普通の共生のカタチについて  
考えてみませんか。

大雨により  
延期になった  
変更後の  
日程です

**聴き手** 聖徳大学心理・福祉学部教授 豊田 宗裕氏

**語り手** ガイドボランティア(移動のお手伝い) /  
とも・とも篠原(障がい児の放課後の居場所) /  
樽町なごみ食堂(地域食堂) / まちの酒屋さん /  
港北区後見の支援室さぼーと・うみの利用者家族  
など

design&illustration  
TAKAKO TOHARA

き て  
聴き手  
かた て  
語り手の

しょう かい  
ご紹介

き て  
聴き手

とよだ むねひろ  
豊田宗裕さん

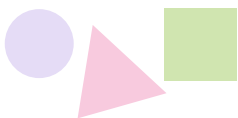
聖徳大学  
心理・福祉学部教授

専門は「地域福祉論」「コミュニティワーク」等。

港北区では、平成29年の「港北ほくほくフェスタ区民フォーラム」で、コーディネーターをおつとめ頂いたことをきっかけに、令和元年度から第4期地域福祉保健計画の検討部会座長の任に就いています。

そのほか市内では、神奈川区・栄区で地域福祉保健計画の策定・推進に携わっています。

本市以外でも、大和市や逗子市でも総合政策審議会委員や地域福祉計画の策定・推進委員としてご活躍です。



いとう えいこ  
ガイドボランティア 伊東栄子さん

ガイドボランティアを本格的に始めたきっかけは、当事者さんのお母さんからの勇気ある踏み出し（声かけ）でした。通学の付き添いから始めて、成長につれ通所や遊びの付き添いと、お付き合いは続いています。小学校では学校支援員もしており、ご依頼があれば個別支援学級の子どもたちの登下校の付き添いもしています。

しの はら くぐみや ちえこ  
とも・とも篠原 久々宮千恵子さん

障がい児を支援する取組が少なかった7年前に、ひっとプラン港北のメンバーから「居場所づくり」の提案があったのがきっかけ。「道で会ったときに挨拶しあえる関係づくり」と「地域の中での交流の場づくり」を目的に、月1回、個別支援学級に通う小中学生を対象に工作や調理、体を動かすプログラム等を実施しています。

たる まち しょうどう なら りゅういち  
樽町なごみ食堂 奈良隆一さん

樽町地区在住の方々を対象とした「地域食堂」です。世代問わず参加できる居場所として、地域の関係者に相談し、協力を得るなど試行錯誤しながら平成30年から検討を重ねてきました。そして、今年2月5日（火）に本格スタートしました。月1回夕方（17:30～19:30）のひとときを皆で同じ空間でカレーを食べながら、お話ししたり、食後のお茶を楽しんだり…。現在は小さなお子さんから中高年の方、ハンディのある方まで老若男女、大勢の方が月1回「カレーの日」として楽しみにしています。

ふーど あんど リカー こいずみ さかい りつこ  
food&liquor KOIZUMI 酒井律子さん

小机町でリカーショップを姉弟で営んでいます。23年間コンビニでしたが、1年前、父の病気を機に祖父の時代の業態（酒屋）へ戻すことを決心。コンビニ時代から地域の高齢者や、子どもの生活をゆるやかに見守り、「私自身も私の子どもたちも地域の方に育ててもらったので、今度は私の番…」と、いろんな人を見守る「めんどくさいおばちゃん」を目指しています。

こうほくく こうけんてき しえんしつ もぎ ゆうこ  
港北区後見的支援室さぼーと・うみ 茂木裕子さん  
どうろくしゃ かぞく  
登録者ご家族

平成25年度から、港北区の障害者後見的支援室として事業を行っています。地域で暮らす障がいのある方とそのご家族の「あんしん」を共に創っていくことを目指しています。地域の皆さんに見守られながら暮らしていくことも「あんしん」の1つと考え、地域を対象に障がいをご理解いただくための啓発活動も行っています。

